



## お年寄りから子どもまで、世代を超え交流 野尻小学校区きずなフェスタ



11

**野**尻地区まちづくり協議会設立に向け、「野尻小学校区きずなフェスタ」が同校で開催されました。児童生徒、保護者や地域住民ら約500人が参加。開会行事の後、1、2年生は竹馬や竹とんぼづくり、3、4年生は野尻原開田用水路や昔の農機具などを学習、5、6年生は地域の魅力や課題を見つめ直す「きずなマップ」の作成を行いました。そのうち、マップづくりは、校区を16ブロックに分け作業。ホテルのスポット

や文化財などの地域の宝、事故や土砂災害の危険箇所などの課題などを地図上に書き込んでいきました。その後、下級生はアジャタ（スポーツ玉入れ）、上級生はグラウンドゴルフを楽しみました。最後に、地域住民が材料を持ち寄り作ったきずな鍋を食べ、親睦を深めました。同校の林美智子校長は、「地域の人たちが先生となり子どもたちに野尻の魅力伝えてもらうことで、より一層絆を深めてもらいたい」と話していました。

**Photo7** 野尻原用水路などについて学習。**8** 地域住民に教えてもらいながら、真剣な表情で竹とんぼを作製。**9** 地域住民と一緒にグラウンドゴルフを楽しむ子どもたち。**10** きずなマップ作成の様子。大人と子どもが一緒になって地域の問題を考えた。**11** アジャタを楽しむ。**12** 活動後は、地域住民手作りのきずな鍋が振る舞われた。

12



## 小林の絶景を求めて全国から延べ3千人 こばやし霧島連山絶景ウォーク

**県**内で最大規模のウォーキングイベント第16回「みやざきツーデーマーチ・こばやし霧島連山絶景ウォーク」が、2月22日、23日に行われました。北海道から鹿児島まで、2日間で延べ3千人が参加。両日とも中央ふれあい広場をスタート・ゴールとした5～30キロの4つのコースで開催。参加者は、市内の名所を巡り、豊かな自然や景色を堪能しながら、汗を流しました。初日の22日は、美しい日本の「歩きた

くなるみち500選」に選ばれている三之宮峡や、陰陽石、二原遺跡、永久井野かくれ念仏洞などの名所が組み込まれたコースで、2日目は、生駒高原、出の山公園や霧島岑神社などを巡るコース。途中のチェックポイントでは住民らボランティアが、飲み物、果物や郷土料理などを振る舞い、参加者を応援しました。ゴール会場には物産店が並び、豚汁、呉汁などの振る舞いや完歩証を使った抽選会もあり、大いに賑わいました。



5

**Photo 1** 道端のあちらこちらに菜の花が咲き、参加者の目を楽しませた。**2** 多くの人で賑わった、発着点のふれあい広場。**3** チェックポイントでの振る舞いも楽しみの一つ。西小林のポイントでは、大学イモが振る舞われた。**4** 立ち止まり住民と交流を楽しむ参加者。**5** 出の山公園を歩く。**6** 住民らのおもてなしに、参加者の顔もほころぶ。

6

